

第10回成果報告会プログラム

期日： 2017年（平成29年）3月5日（日）10:00-17:50

会場： 東京理科大学2号館212教室（オーラル）、222教室（ポスター）（新宿区神楽坂1－3）

共催： 認定NPO法人富士山測候所を活用する会
東京理科大学総合研究院大気科学研究部門

後援： 日本郵便株式会社
トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
公益財団法人栗井英朗環境財団



10:00	開会宣言 佐々木一哉（大会実行委員会） 開会のご挨拶 畠山史郎（理事長）	
10:05	ー11:25	座長：鴨川仁（東京学芸大学）
オーラルセッション 1		
10:05	O-01 富士山学校科学講座および高所順応トレーニングの10年間の実践の歩み	浅野勝己（筑波大学名誉教授）
10:25	O-02 「理科準備室へようこそ」～富士山頂での教材開発 V ～	古田 豊（立教新座中学校・高等学校）
10:45	O-03 手に取る宇宙～Message in a Bottleプロジェクト@富士山頂	松井紫朗, 小山田徹（京都市立芸術大）, 本原顕太郎, 高橋英則（東京大）, 古屋梨奈（アーツカウンシル東京）, 佐藤雄（早稲田環境研究所）, 堀切春水（アートコーディネーター）
11:05	O-04 フラット3 運用状況について	新田英智, 東郷翔帆, 富田悠登, 岡田朋大, 高橋周作, 鶴田拓真, 鴨川仁（東京学芸大）
13:00	ー14:00	座長：加藤俊吾（首都大学東京）
オーラルセッション 2		
13:00	O-05 今後に求められる測候所接地線の落雷電流観測と雷対策 *2015年度トヨタ環境活動助成プログラム 富士山測候所の被雷対策による温室効果ガス常時監視の実現	安本勝（㈱ヤマザキ）, 佐々木一哉（弘前大）, 鴨川仁（東京学芸大）, 野村渉平, 向井人史（国立環境研）, 高橋浩之（東京大）, 大胡田智寿, 土器屋由紀子（富士山測候所を活用する会）
13:20	O-06 2016年夏季富士山頂で大気電気・雷観測	鴨川仁（東京学芸大）, 佐々木一哉（弘前大）, 安本勝（ヤマザキ）, 工藤剛史, 廣岡征紀（音羽電機）, 榎戸輝博（京都大）, 和田有希（東京大）, 高橋周作, 石川朗子, 小名木すみれ（東京学芸大）
13:40	O-07 年賀寄附金配分事業による測候所の保守と大気中水銀の通年観測の試行 *2016年度年賀寄附金配分事業 地球環境観測拠点としての富士山測候所の労力提供型整備事業	兼保直樹, 野田和俊（産総研）
14:05	ー15:25	座長：大河内博（早稲田大学）
オーラルセッション 3		
14:05	O-08 富士山頂における反応性総窒素酸化物（NO _x ）の計測	和田龍一（帝京科学大学）, 定永靖宗（大阪府大）, 加藤俊吾（首都大学東京）, 勝見尚也, 大河内博（早稲田大）, 岩本洋子, 三浦和彦（東京理科大）, 小林拓（山梨大）, 鴨川仁（東京学芸大）, 松本淳（早稲田大）, 米村正一郎（農研機構）
14:25	O-09 富士山頂におけるガス状二酸化硫黄の観測	佐野亘, 加藤俊吾（首都大）, 三浦和彦（東京理科大）, 大河内博（早稲田大）, 小林拓（山梨大）, 鴨川仁（東京学芸大）
14:45	O-10 8年間の富士山頂のCO ₂ 濃度観測結果	野村渉平, 向井人史（国立環境研）
15:05	O-11 偏光OPCによる観測ネットワークを用いた越境輸送イベント抽出法の検討	沖由裕, 小林拓（山梨大）, 林政彦, 原圭一郎, 西田千春（福岡大）, 財前祐二, 五十嵐康人（気象研）, 三浦和彦（東京理科大）, 西澤智明, 杉本伸夫（国立環境研）
16:30	ー17:50	座長：小林拓（山梨大学）
オーラルセッション 4		
16:30	O-12 富士山体を利用したエアロゾルの気候影響の研究—新粒子生成、成長、雲生成— *2016年度 栗井英朗環境財団 公募助成事業(奨励団体)	三浦和彦, 岩本洋子（東京理科大学理学部）, 永野勝裕（東京理科大学理工学部）, 速水洋（電力中央研究所）, 加藤俊吾（首都大学東京）, 小林拓（山梨大）, 矢吹正教（京都大学）, 青木一真（富山大学）
16:50	O-13 富士山体を利用したガス・エアロゾル・雲水の環境化学観測	大河内博, 勝見尚也（早稲田大）, 皆巳幸也（石川県立大）, 小林拓（山梨大）, 戸田敬（熊本大）, 竹内政樹（徳島大）, 米持真一（埼玉環境科学国際センター）, 中野孝教, 村田克（早稲田大）
17:10	O-14 日台における国際共同研究	島田幸治郎（東京農工大）, 畠山史郎（埼玉県環境科学国際センター）
17:30	O-15 富士山頂、韓国済州島および上海で採取したPM2.5中の化学組成と起源	米持真一, 堀井勇一（埼玉環境科学国際センター）, 大河内博, 廣川諒祐（早稲田大）, Ki-Ho Lee, Chul-Goo Hu（韓国済州大）, Senlin Lu（中国上海大）
15:25	ー16:30	
ポスターセッション		
15:25	P-01 富士登山者のコンディション評価—主観的/客観的指標を用いて— P-02 山頂に設置された雨水フィルターの放射線計測～福島原発事故前後の比較 P-03 2016年夏季観測された雷雲起源の高エネルギー放射線 P-04 2016年夏季に観測されたスプライト P-05 NPOホームページのアクセス数と山頂周辺天気の関係について P-06 富士山頂および太郎坊における新粒子生成に関する研究 P-07 富士山頂で捕集した大気エアロゾルのバルク／個別粒子分析 P-08 2015、2016年夏季の富士山頂における雲凝結核の特性 P-09 富士山におけるエアロゾルの光学特性 P-10 富士山麓太郎坊におけるラドン・トリウム娘核種の変動と気象との関係 P-11 2015-2016年の富士山における新粒子生成に関する考察 P-12 2016年夏季における富士山と箱根における火山ガス観測 P-13 富士山体を利用した自由対流圏の雲水化学特性の解明 P-14 富士山頂におけるナノ粒子の粒径分布の測定 P-15 積乱雲のてっぺんからジャンプする雲（jumping cirrus）の特徴 P-16 （動画デモ-1）大気科学専門家によるレクチャー動画 *2015年度ドコモ市民活動団体への助成(環境分野) 富士山頂から地球環境問題を学んでもらうプロジェクト （動画デモ-2）お鉢回りビュー （動画デモ-3）富士山測候所360度パノラマビュー	金森雅夫（立命館大学）, 林綾子（びわこ成蹊スポーツ大学） 石川朗子, 高橋周作, 鶴田拓真, 鴨川仁（東京学芸大学） 高橋周作, 石川朗子, Gregory Bowers, David Smith (UC Santa Cruz), 岩崎杉紀（防衛大学校）, 泉田航, 鴨川仁 小名木すみれ, 鶴田拓真, 石川智也, 鈴木智幸, 鴨川仁（東京学芸大学） 泉田航, 鴨川仁（東京学芸大学） 片岡良太, 桃井裕広, 三浦和彦, 岩本洋子（東京理科大学）, 矢吹正教（京都大学）, 加藤俊吾（首都大学東京）, Indra Chandra, 瀬戸章文（金沢大学） 土井瀬菜, 岩本洋子, 三浦和彦（東京理科大学）, 服部祥平（東京工業大学）, 大河内博（早稲田大学） 佐藤光之介, 片岡良太, 三浦和彦, 岩本洋子（東京理科大学） 桃井裕広, 三浦和彦（東京理科大）, 青木一真（富山大） 鈴木康太, 三浦和彦（東京理科大学・理）, 永野勝裕（東京理科大学・理工） 小西理愛, 片岡良太, 桃井裕広, 岩本洋子, 三浦和彦（東京理科大学） 大河内博（早稲田大）, 戸田敬, 溝口竣介, 岩崎真和（熊本大）, 山地達也, 勝見尚也（早稲田大） 中村恵, 大河内博, 小川新, 緒方裕子, 名古屋俊士, 勝見尚也（早稲田大）, 皆巳幸也（石川県立大）, 小林拓（山梨大）, 三浦和彦, 岩本洋子（東京理科大）, 加藤俊吾（首都大学東京）, 植松光夫（東京大） 村本慎仁, Indra Chandra, 猪股弥生, 東秀憲, 大谷吉生, 瀬戸章文（金沢大）, 三浦和彦, 岩本洋子（東京理科大）, 加藤俊吾（首都大東京） 岩崎杉紀（防衛大）, 鴨川仁（東京学芸大）, 久保田尚之（東京大）, 岡本創（九州大）, 石元裕史（気象研）, 牛山朋来（土研研） 岡田朋大, 鶴田拓真（東京学芸大学）

2007—2016

富士山測候所での10年間の研究成果を発表します

第10回成果報告会

- 口頭発表： 浅野勝己（筑波大学名誉教授）/古田 豊（立教新座中学校・高等学校）/松井紫明（京都市立芸術大学）/
新田英智（東京学芸大学）/安本 勝（東京大学）/鴨川 仁（東京学芸大学）/兼保直樹（産業総合技術研究所）/
和田龍一（帝京科学大学）/佐野亘（首都大学東京）/野村沙平（国立環境研究所）/小林拓（山梨大学）/三浦和彦（東京理科大学）/
大河内博（早稲田大学）/畠山史郎（東京農工大学）/米持真一（埼玉県環境科学国際センター）
- ポスター発表： 岩崎杉紀（防衛大学校）/石川朗子、高橋周作、小名木すみれ、泉田航（東京学芸大学）/村本慎仁（金沢大学）/
片岡良太、土井瀬菜、佐藤光之介、桃井裕広、鈴木康太、小西理愛（東京理科大学）/大河内博、中村恵（早稲田大学）



日時:2017. **3.5 (日)**

10:00—17:30 開場 9:40

会場:東京理科大学 2号館 212 教室

東京メトロ有楽町線/南北線飯田橋駅 B3

JR 飯田橋駅西口下車

参加費無料

共催: 認定NPO法人富士山測候所を活用する会

東京理科大学総合研究院大気科学研究部門

後援: 日本郵便株式会社

トヨタ自動車株式会社「トヨタ環境活動助成プログラム」

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

公益財団法人栗井英朗環境財団

